

― 葉月さんたちは、「文章1」と「文章2」を読んで、自分たちの考えを
深めようとしています。これらの文章を読んで、後の(一)～(六)の問いに答え
なさい。

〔文章1〕

(戸谷洋志『悪いことはなぜ楽しいのか』による。)

(注) ギャツビー……アメリカの作家F・スコット・フィッツジェラルドの
小説『グレート・ギャツビー』の主人公。

〔文章2〕

(小野純一『僕たちは言葉について何も知らない

孤独、誤解、もどかしさの言語学』による。)

(問題は次のページに続きます。)

(一) 「文章1」中 に当てはまる語として最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

- ア たとえ
イ 決して
ウ まるで
エ おそらく

(二) 「文章1」中 I III には、「本来性」または「非本来性」のいずれかの語が入ります。その組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

- | | | | | | |
|-----|------|----|------|-----|------|
| ア I | 本来性 | II | 非本来性 | III | 本来性 |
| イ I | 本来性 | II | 非本来性 | III | 非本来性 |
| ウ I | 非本来性 | II | 本来性 | III | 本来性 |
| エ I | 非本来性 | II | 本来性 | III | 非本来性 |

(三) 「文章1」中「彼の主張は極めて徹底しています」とありますが、これはどういうことですか。最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア ハイデガーの主張は、空気を読まないことに伴う危険性を鋭く指摘して、その主張の理屈が通っているということ。

イ ハイデガーの主張は、空気を読むことは誰もが行ってしまっていることを示して、その主張が一貫しているということ。

ウ ハイデガーの主張は、空気を読むことのメリットとデメリットを明らかにして、その主張が世の中に広まっているということ。

エ ハイデガーの主張は、空気を読まないことは意志の弱さの表れであることを裏付けていて、その主張が人々に支持されているということ。

(四) 葉月さんは、「文章2」の少年の様子には、「文章1」で述べられている「本来性」の状態と「非本来性」の状態が見られると考えました。「文章2」の少年は、どのような過程を通して「本来性」の状態になったと考えられますか、「文章2」の内容を踏まえて、簡潔に書きなさい。

(五) 葉月さんたちは、「文章1」と「文章2」の特徴について考えを述べました。それぞれの文章の特徴を踏まえたものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 「文章1」では、科学的に裏付けられた数値を根拠にしながら説明しているけれど、「文章2」では、筆者の主観に基づいた説明をしているという点で違いがあるよね。

イ 「文章1」と「文章2」は両方とも、二つの異なる考え方を対比して、一方の正当性や、もう一方の問題点を述べることで、筆者の考えを明確にする構成になっているね。

ウ 「文章1」では、読者への問いかけをしながら自分の考えを述べているけれど、「文章2」では、具体的な事例を挙げつつ、その事例を分析して説明する構成で書かれているね。

エ 「文章1」と「文章2」は両方とも、文章の冒頭で主張を明示して、それぞれの主張についての詳しい説明をすることで、筆者の考えを読者に分かりやすく伝えようとしているね。

(六) あなたは、「自分らしさ」に気付くにはどうすればよいと考えますか。自分の経験を踏まえ、「文章1」と「文章2」の両方の内容、あるいはどちらか一方の内容に触れながら、百五十字以上、百八十字以内で書きなさい。ただし、記号や句読点等も一字として数えること。また、一マス目から書き始め、段落は設けないこと。

(村崎なぎこ『オリオンは静かに詠う』による。)

(注) 炭酸まんじゅう……生地に重曹を加えて作るまんじゅう。

口話……聴覚に障がいのある人が、相手の口の形や表情で話を理解し、自ら

も発話して、音声によって会話をすること。

ろう学校……聴覚に障がいのある児童・生徒が学ぶ学校。

(一) 文中A——「静香と母の世界に、片足を踏み入れてみる」とありますが、これは「アタシ」のどのような行動を表していますか。最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 妹と協力して母のことを喜ばせようとしている。

イ 自分も手話を使った交流を試みようとしている。

ウ 妹と母との親密な関係を邪魔しようとしている。

エ 練習した手話を妹と母に自慢しようとしている。

(二) 文中B——「苦笑いしながら」とありますが、「静香」が苦笑いをした理由として最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 自分の状況や思いを姉が理解していなかったことを知ったから。

イ 自分の苦しみに寄り添おうとする姉の深い思いやりに触れたから。

ウ 競技かるたの練習に打ち込もうとする姉の強い覚悟を感じたから。

エ 懸命な努力で自分に何かを伝えようとする姉の姿を見たから。

(三) 本文中の表現についての説明として適切なものを、次のア～エから全て選びなさい。

ア 擬音語や擬態語を多用することで、登場人物の心情の変化を明らかに示している。

イ へ～の記号を用いることで、手話でのやり取りの箇所を分かりやすく示している。

ウ 姉・妹・母のそれぞれの視点から描くことで、物語の展開に深みを持たせている。

エ 感嘆符(！)を用いることで、姉や妹の驚きや気持ちの高ぶりを効果的に表している。

(四) 文中C——「同じ空でも光の加減で見える姿は違うけれど、「ひとつの宇宙」なのだ」とありますが、ここで「アタシ」は、「静香」との関係についてどのようなことに気付いたと考えられますか、書きなさい。

三 翔平さんたちは、次の「文章」中——「人の心も同じことにはやあらむ」について、唐の時代の漢詩を活用して考えを深めようとしています。「文章」と「漢詩」を読んで、後の(一)～(五)の問いに答えなさい。

「文章」

昔、阿部仲麻呂といひける人は、唐土にわたりて、帰り来ける時に、船に乗るべきところにて、かの国人、馬のはなむけし、別れ惜しみて、(乗船するはずの場所にて ちの国のこ 別れのあいさつをして)

かしこの漢詩作りなどしける。飽かずやありけむ、二十日の夜の月出づるまでぞありける。その月は、海よりぞ出でける。これを見て(その場にいた)

ぞ仲麻呂のぬし、「わが国に、かかる歌をなむ、神代より神もよん給び、今は上、中、下の人も、かうやうに、別れ惜しみ、喜び(およみになり どのようか どのようか)

もあり、悲しきもある時にはよむ。」とて、よめりける歌、

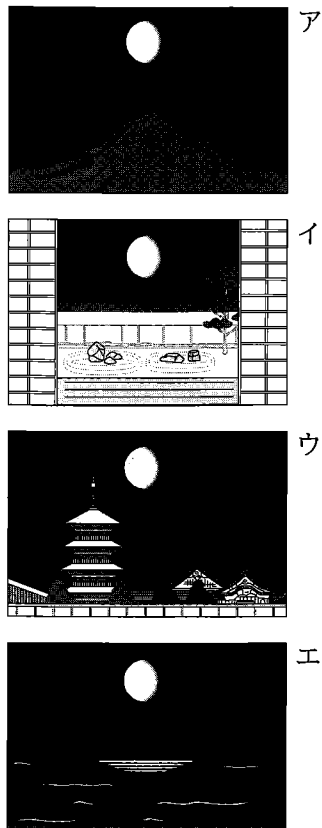
青海原ふりさけみれば春日なる三笠の山に出でし月かも(あをうなばら 青々と広がる海上を眺めると故郷の春日にある三笠の山に昇った月と同じ月だなあ)

とぞよめりける。かの国人、聞き知るまじく、思はえたれども、言の心を、男文字にさまを書き出だして、(漢字でおおよそを) ^A (ここのことは伝へたる人はいひ)

知らせければ、^B (心をや聞き得たりけむ、いと思ひのほかになむ) (意味を理解したのであるうか) (聞いてもわからないうか) (思ったけれど) (歌の意味)

(一) 「文章」中A——「伝へたる」を現代仮名遣いで書きなさい。ただし、全て平仮名で書くこと。

(二) 「文章」中の和歌について、「阿部仲麻呂」が和歌をよんだ場面、仲麻呂らが実際に見ている月の情景を表したものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。



(三) 「文章」中B——「いと思ひのほか」にあります、どのようなことが「意外」だったのですか。最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 日本人が書き出した漢詩が巧みだったこと。
- イ 唐の人が日本人の和歌の内容に共感したこと。
- ウ 日本人が美しい文字で和歌の意味を書いたこと。
- エ 唐の人が日本の都の様子をよく知っていたこと。

賞でける。唐土とこの国とは、言異なるものなれど、月のかげは(賞賛した) (言葉は違うものであるが) (月の光)

同じことなるべければ、人の心も同じことにはやあらむ。(同じであるはずなので) (人の心も同じなのであろう)

『土佐日記』による。

「漢詩」

静夜思

李白

牀前看月光

牀前月光を看る(寝床の前に月の光が差し込むのを見る)

疑是地上霜

疑ふらくは是れ地上の霜かと(まるで地面に霜が降りたかのように思う)

舉頭望山月

頭を挙げて山月を望み(頭を上げて山の上の月を眺め)

低頭思故郷

頭を低れて故郷を思ふ(頭を垂れて故郷のことを思う)

『唐詩選』による。

(注) 李白……唐の時代の詩人。

(四) 「漢詩」について、この漢詩の形式として最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 五言絶句
- イ 五言律詩
- ウ 七言絶句
- エ 七言律詩

(五) 翔平さんたちは、「文章」中——「人の心も同じことにはやあらむ」について考えを述べました。「文章」と「漢詩」の内容を踏まえたものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 「文章」も「漢詩」も、様々な美しさを見せる月の姿を心の支えにしていることから、日本人と唐の人では、月を見て前向きに生きようとする心情が共通していることが分かるね。

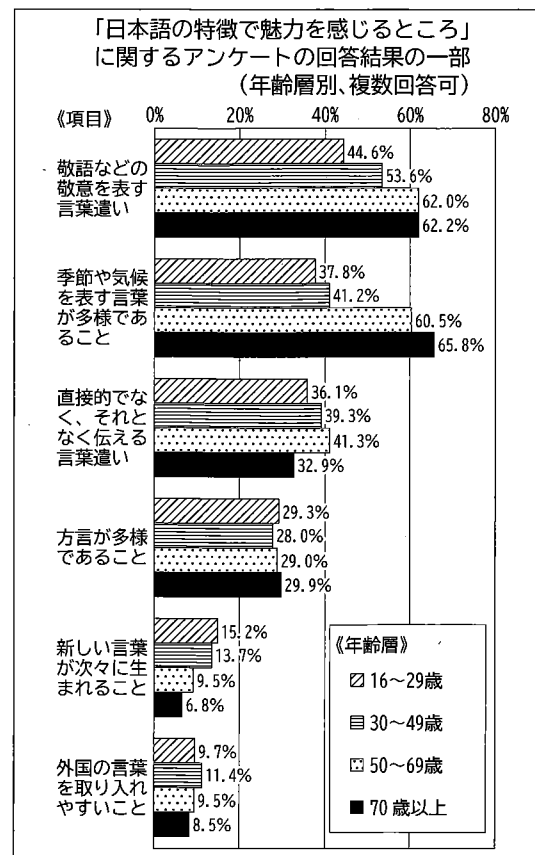
イ 「文章」も「漢詩」も、夜空を移動する月の姿に時間の流れを感じていることから、日本人と唐の人では、月を見て過ぎ去っていく時間を惜しむ心情が共通していることが分かるね。

ウ 「文章」も「漢詩」も、どこにいても見ることのできる月の光を見て、遠く離れた故郷への思いを募らせていることから、日本人と唐の人が月を見て同じ思いを抱いているのが分かるね。

エ 「文章」も「漢詩」も、変化する月の形と故郷に暮らす人々の気持ちの変化を重ねて、人の心の移ろいを嘆いていることから、日本人と唐の人が月を見て同じ思いを抱いているのが分かるね。

四 千里さんと広大さんは、国語の授業で、自分たちでテーマを決めてスピーチをすることになり、「日本語の魅力」について取り上げようとしています。次の〔資料〕と〔会話文〕を読んで、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

〔資料〕



令和5年度「国語に関する世論調査」(文化庁)により作成

〔会話文〕

千里さん 「資料」を見ると、年齢層によって「日本語の特徴で魅力を感じる場所」が違っているのは、面白いよね。

広大さん そうだね。「資料」を基にして、クラスみんなに行うスピーチのテーマを考えよう。どの項目を話題にするのがいいかな。

千里さん 私たちのような若者が、他の年齢層よりもあまり魅力を感じることができていない項目に着目して決めるのはどうだろう。

広大さん なるほど。そうするとクラスのみんなも、日本語の魅力についてあらためて考えるきっかけにできそうだね。

千里さん まずは、スピーチのポイントと一緒に確認しておこうよ。

(三) 千里さんと広大さんは、「再発見！日本語の魅力」というテーマを設定し、スピーチ原稿を作成した。次の「スピーチ原稿」を読んで、後の①、②の問いに答えなさい。

〔スピーチ原稿〕

皆さん、こんにちは。

これから、普段使っている日本語の魅力をお伝えします。

まず、日本語には敬語というものがあります。例えば、「見る」という動詞は、目上の人の「見る」動作を敬って言う場合は「ご覧になる」、自分の「見る」動作をへりくだって言う場合は「拝見します」。

このように日本語では、相手の立場に合わせて表現の仕方が変わります。

次に、日本語には季節や気候に関する言葉がたくさんあります。例えば「雨」は、降り方や季節によって呼び方が数多くあります。言葉を聞くだけで情景が目には浮かぶのは、日本語の魅力の一つです。また、俳句で使う「季語」や、手紙の書き出しの「時候の挨拶」などは日本の独自の文化です。このように日本語には、自然や文化と結びついた言葉の美しさがあります。

私たちの気付いていない日本語の魅力は、まだまだたくさんあります。皆さんも、日本語の魅力をあらためて発見してみませんか。

(一) 〔会話文〕中A——「年齢層によって「日本語の特徴で魅力を感じる場所」が違っている」とありますが、「資料」を正しく読み取っているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 「直接的でなく、それとなく伝える言葉遣い」に魅力を感じる人の割合は、年齢層が下がるほど高くなる。

イ 「方言が多様であること」に魅力を感じる人の割合は、十六～二十九歳の年齢層が最も高い。

ウ 「新しい言葉が次々に生まれること」に魅力を感じる人の割合は、年齢層が上がるほど低くなる。

エ 七十歳以上の年齢層では、「外国の言葉を取り入れやすいこと」に魅力を感じる人の割合が、他の項目と比較して最も低い。

(二) 〔会話文〕中B——「スピーチのポイント」とありますが、聞き手により良く伝わるスピーチをするために工夫するポイントとして適切なものを、次のア～エから二つ選びなさい。

ア 聞き手の興味や関心を引くために、身近な話題を取り上げる。

イ 誠実な印象を持つてもらうために、終始一点だけを見て話す。

ウ 聞き手の反応は意識せず、原稿の表現に忠実にスピーチをする。

エ 話す内容や状況に応じて、身振りを交えながらスピーチをする。

① 「スピーチ原稿」中□に当てはまる語を書きなさい。

② 千里さんと広大さんの作成した「スピーチ原稿」について、日本語の魅力をより分かりやすく伝えるためには「スピーチ原稿」をどのように修正すればよいか、適切なものを、次のア～エから二つ選びなさい。

ア 敬語の誤った使い方の具体例を数多く述べて、日本語の複雑な側面を強調する。

イ 敬語のはたらきが分かる実際の場面を紹介し、日本語に敬語がある良さを述べる。

ウ 様々な国で行われている季節ごとの行事を紹介し、スピーチの内容を風習に関するものに変える。

エ 「雨」には状況によって数多くの異なる表現があることを具体的に述べて、日本語の豊かさを伝える。

五次の(一)～(三)の問いに答えなさい。

(一) 次の①～④の――の平仮名の部分を漢字で書きなさい。

① 川の流れがはやい。

② 春になると木々がめを出す。

③ きてきを合図に船が出航する。

④ それは風邪のてんけい的な症状だ。

(二) 次の①～④の――の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

① 彼の作品は秀逸だ。

② 顧客に便宜を図る。

③ 音楽を聴くと気が紛れる。

④ 山の斜面で雪崩が発生する。

(三) 次のア～エの行書で書かれた漢字のうち、楷書で書かれた場合に比べ

て、点画が省略されているものを、全て選びなさい。

ア

被

イ

灯

ウ

闭

エ

仰